

予備審査請求は智財局部予備審査機関へ直接行わなければならない。2以上の智財機関がある場合には、出願人の選択による。
IPEA / JP

特許協力条約に基づく国際出願 国際予備審査請求書

第Ⅱ章

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求する。



国際予備審査請求書	
国際予備審査機関の確認	請求書の受理の日
PCT 06.12.04 受領印	

第Ⅰ欄 国際出願の表示		出願人又は代理人の登録記号 148458-182
国際出願番号	国際出願日(日、月、年)	優先日(既先のもの)(日、月、年)
PCT/JP2004/009152	29.06.04	03.07.03

発明の名称 処理装置		
---------------	--	--

第Ⅱ欄 出願人		
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び固名も記載)		
東京エレクトロン株式会社 TOKYO ELECTRON LIMITED 〒107-8481 日本国東京都港区赤坂五丁目3番6号 3-6, Akasaka 5-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8481 Japan		
国籍(固名):	日本国:JAPAN	住所(固名):
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び固名も記載)		

小山 勝彦 OYAMA Katsuhiko
〒107-8481 日本国東京都港区赤坂五丁目3番6号
東京エレクトロン株式会社内
c/o Tokyo Electron Limited,
3-6, Akasaka 5-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8481 Japan

国籍(固名):	日本国:JAPAN	住所(固名):	日本国:JAPAN
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び固名も記載)			
望月 伸也 MOCHIDUKI Shinya 〒107-8481 日本国東京都港区赤坂五丁目3番6号 東京エレクトロン株式会社内 c/o Tokyo Electron Limited, 3-6, Akasaka 5-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8481 Japan			

国籍(固名):	日本国:JAPAN	住所(固名):	日本国:JAPAN
<input checked="" type="checkbox"/> その他の出願人が誤記に記載されている。			

様式 PCT/IPEA/401 (第1用紙) (2004年1月版)

第2回欄の宛先 出願人

この第2回欄の紙面を使用しないときは、この用紙を国際出願査跡請求書に含めないこと。
氏名（名称）及びあて名：（姓、名の前に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

竹内 端 TAKEUCHI Yasushi

〒107-8481 日本国東京都港区赤坂五丁目3番6号

東京エレクトロン株式会社内

c/o Tokyo Electron Limited,
3-6, Akasaka 5-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8481 Japan

国籍（国名）：日本国：JAPAN

住所（国名）：日本国：JAPAN

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の前に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

国籍（国名）：

住所（国名）：

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の前に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

国籍（国名）：

住所（国名）：

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の前に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

国籍（国名）：

住所（国名）：

その他の出願人が他の紙面に記載されている。

国際出願番号
PCT/JP2004/009152

第三欄 代理人又は共通の代表者、通知のあて名

下記に記載された者は、 代理人 又は 共通の代表者として 現に選任された者であって、国際手続審査についても出願人を代理する者である。 今回新たに選任された者である。先に選任されていた代理人又は共通の代表者は解任された。 現に選任された代理人又は共通の代表者に加えて、特に国際手続審査機関に対する手続きのために、今回新たに選任された者がいる。

氏名（名札）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び固有名も記載）

(7501)弁理士 吉武、翼次 YOSHITAKA Kijii
〒100-0005 日本国東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
富士ビル323号 協和特許法律事務所
Kyowa Patent & Law Office, Room 323, Fuji Bldg.,
2-3, Marunouchi 3-Chome, Chiyoda-Ku,
TOKYO 100-0005 Japan

電話番号：
03-3211-2321ファクシミリ番号：
03-3211-1710

加入電信番号：

代理人登録番号：

通知のためのあて名：
代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上記枠内特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す。

第四欄 国際手続審査補正に付する書類の言語

補正に関する記述：*

1. 出願人は、次のものを基礎として国際手続審査を開始することを希望する。

 出願時の国際出願を基礎とすること。 明細書に関して 出願時のものを基礎とすること。 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。 請求の範囲に関して 出願時のものを基礎とすること。 特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正（添付した説明書も含む）を基礎とすること。 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。 図面に関して 出願時のものを基礎とすること。 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。2. 出願人は、特許協力条約第19条の規定に基づく請求の範囲について行った補正を無視し、かつ、取り消されたものとみなして開始することを希望する。3. 出願人が国際手続審査の開始を規則69.1(d)に基づき適用される期間の満了まで延期することを希望する。4. 出願人が国際手続審査を規則54の2.1(a)に基づき適用される期間の満了よりも早く開始することを明示的に希望する。

*記入がない場合は、1)補正がないか又は国際手続審査機関が補正（原本又は写し）を受領していないときは、出願時の国際出願を基準に手続審査が開始され、2)国際手続審査機関が、見解書又は予審査報告書の作成結果を補正（原本又は写し）を受領したときは、これらの補正を考慮して手続審査が開始される。

国際手続審査を行うための言語は、日本語……………であり、

 国際出願の提出時の言語である。 国際調査のために提出した翻訳文の言語である。 国際出版の公開の言語である。 国際手続審査の目的のために提出した翻訳文の言語である。

第五欄 国の選択肢

この様式を用いてされた国際手続審査の請求は、指定され、かつPCT第II章に拘束される全ての締約国を選択する国際手続審査の請求となる。

国際出版番号
PCT/JP2004/009152

第6 VI欄 共同合規欄

この国際予備審査請求書には、国際予備審査のために、第IV欄に記載する言語による下記の書類が添付されている。

1. 国際出願の翻訳文.....
2. 特許協力条約第3・4条の規定に基づく補正書.....
3. 特許協力条約第19条の規定に基づく補正書
(又は、要求された場合は翻訳文) のなし.....
4. 特許協力条約第19条の規定に基づく説明書
(又は、要求された場合は翻訳文) のなし.....
5. 要請.....
6. その他 (要請名を具体的に記載) :

国際予備審査請求書
自己入相欄

受 領	未 受 領
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

この国際予備審査請求書には、さらに下記の書類が添付されている。

- 手数料計算用紙
- 納付する手数料に相当する特許印紙を貼付した書面
- 国際出願局の口頭へ振込を証明する書面
- 委任の委任状の原本
- 委任の委任状の原本
- 包括委任状のなし (あれば包括委任状番号) :

5. 記名押印 (署名) の欠落についての説明書
6. コンピュータ読み取り可能な形式による配列表
7. コンピュータ読み取り可能な形式による配列表に間違するテーブル
8. その他 (要請名を具体的に記載) :

第7 VII欄 出願人、代理人又は共通の代表者の記名押印欄

各人の氏名(名前)を記載し、その次に押印する。

吉武 賢次

国際予備審査請求書自己入相欄

1. 国際予備審査請求書の実際の受理の日付

2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正後の日付

<ol style="list-style-type: none"> 3. <input type="checkbox"/> 優先日から 19ヶ月を経過後の国際予備審査請求書の受理。 ただし、以下の4,5の項目にはあてはまらない。 <input type="checkbox"/> 出願人に通知した。 4. <input type="checkbox"/> 規則80.5により延長が認められている優先日から 19ヶ月の期間内の国際予備審査請求書の受理 5. <input type="checkbox"/> 優先日から 19ヶ月を経過後の国際予備審査請求書の受理であるが規則82により認められる。 	<ol style="list-style-type: none"> 6. <input type="checkbox"/> 規則 64 の 2.1(a)の期間の経過後の国際予備審査請求書の受理。 ただし、以下の7,8の項目にあてはまらない。 7. <input type="checkbox"/> 規則 80.5 により延長が認められている規則 64 の 2.1(a)の期間内の国際予備審査請求書の受理。 8. <input type="checkbox"/> 規則 64 の 2.1(a)の期間の経過後の国際予備審査請求書の受理であるが規則 82 により認められる。
---	--

国際予備審査請求書自己入相欄

国際予備審査請求書の国際予備審査機関からの受領の日:

様式PCT/IPEA/401(最終用紙)(2004年1月版)